

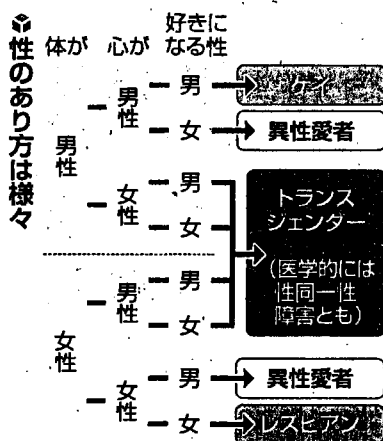
18歳の1票

LGBT

今月の
テーマ

好きになる対象が異性でなかったり、体の性と自認する性が異なったり——。「LGBT」と言われる性的少数者たちは生きづらさを抱えているケースが少なくない。差別、偏見をなくすため正しい知識を広めていかなければならない。

性的少数者の思い



※図はバイセクシャルなど除き単純化。
実際の性的指向、性自認はさらに多様

日本人の7%超

Data LGBTとは、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの英語の頭文字を組み合わせた言葉だ。性的少数者の総称でもある。

電通は成人約7万人を対象に実施した2015年調査に基づき、該当する人の割合は全体の7.6%と推計した。日本人の13人に1人が当事者ということになる。

しかし、59歳までの成人約1000人を対象とした日本労働組合総連合会の16年調査では、LGBTという言葉を知っている」と答えた人が47%、「知らない」は53%と、社会的認知度は高いとは言えない。

Check!

- ・LGBTの当事者は学校や社会でどんな困難に直面するのか
- ・性の多様性について、何か身近に感じたことはないだろうか

「スカートの制服がとてもしんどかった。毎日がつらかった。1月中旬、東京都世田谷区の成城ホールで開かれた「LGBT成人式」。約200人が参加する式で、新成人代表として壇上に上がった

つさん(20)は自身の中学時代をこう振り返った。てつさんは女性として生まれたが、男性を自認するトランスジェンダーだ。イベントはLGBTを支援するNPO法人「ReBit」

が、当事者への理解が十分にならなかった。この日も「悩んでいる人にインスピレーションを与えたい」と力強く話した。

近年、LGBTという言葉がよく耳にするようになったが、当事者への理解が十分にならなかった。この日も「悩んでいる人にインスピレーションを与えたい」と力強く話した。

周囲の理解不十分 困難抱える

学校教育で同性愛についての知識を習ったか

	否定的な情報を得た	肯定的な情報を得た	その他無回答
10代	「異常」なものとして習った 48.2%	7.1	18.8
20代	59.2	6.1	19.9
30代	71.6	4.5	17.2
40代	79.1	4.9	13.4
50歳以上	80.2	4.9	13.0
全体	68.0	5.4	17.2

※宝塚大学看護学部の日高廣晴教授による「LGBT当事者の意識調査」(2016年実施)から作成



「LGBT成人式」で思いを語るてつさん(1月13日、東京都世田谷区で)

の主催で、「着たい晴れ着を着ることができない」という当事者の声にこたえて2011年度に始まった。性自認や性的指向などを問わず、「ありのままの自分」の門出を祝福しようの狙い。全国に広まり、6年間で約5000人以上が参加している。

てつさんに転機が訪れたのは高校時代。トランスジェンダーという言葉を知り、自身の性への「違和感」の答えが見つかった。周囲に打ち明けて男子の制服を着始めた。LGBTへの理解を深めるための講演会を校内で開き出した。この日も「悩んでいる人にインスピレーションを与えたい」と力強く話した。

浸透しているとはいえない。関東地方に住む戸籍上は女性であるトランスジェンダーの社会人は「就職活動の際、男性の服装で試験に臨んだところ、面接官に『トイレはどこを使うんだ』などと興味本位で尋ねられ、不愉快な思いをした」と話す。ReBitの薬師実秀代表理事(28)は「自分らしく働ける職場の情報が多かったり、働くLGBTの実例が見えなかったりして困難を抱えている人が多い」と語る。学校現場にも課題は多い。「ホモ」「おかま」などの差別語に周囲が無頓着なことがある。神奈川県に住むゲイの大学生は「先生も同級生も同性愛者に嫌悪感があった。ゲイであることを隠し通した」と話す。15年には、ゲイであることを同級生に暴露された都内の法科大学院生が、精神状態が不安定になった末、転落死したとされる例もある。(今月の担当・金来ひろみ)

「多様性」が叫ばれている現代です。世の中には人の数だけ個性があって、色々な考え方が受け入れられるようになってきました。どんなものが好きで、どんな考え方をしている... あなたはあなたのままでいいのは当たり前なんです。でも、「そうじゃダメだ」と言われて苦しんでいる人もいます。正しい知識を知って、もいつか、君たちが記事の人々のように苦しんでいる人に出会った時、特別な目で見たりせずに手をとり合って生きてくれるといいなと思っています。

みんなただのヒトだよ みんなちがってみんないい 石塚(1977)